

# 診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第 29 号／令和 4 年 12 月

URL <https://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

## 一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田正憲

### 中小企業診断士が豊かな社会をつくる



中小企業診断士の活躍が中小企業の振興を通じて豊かな社会をつくる。私はそう信じています。

昭和 23 年 11 月 4 日、中小企業庁により「中小企業診断実施基本要領」が制定され、「中小企業診断士制度」が発足しました。74 年前のことです。そして平成 30 年に、全国組織である（一社）中小企業診断協会は 11 月 4 日を「中小企業診断士の日」とし、この日の前後に全国の都道府県にある診断士協会において「中小企業診断士の日」のイベントが開催されています。

新潟県協会は今年度、「中小企業診断士の日」のイベントとして、11 月 15 日に朱鷺メッセにて「中小企業経営シンポジウム in 新潟」を開催し、約 90 名の方々（中小企業経営者、支援機関、金融機関、協会会員等）にご参加いただきました。当日は外部講師による基調講演と協会会員による分科会で構成され、組織風土改革から、近年その重要性が注目されている心理的資本やDX、知的資産

経営に関する講演が行われました。

当協会の定款には以下の目的が示されています。このたびのシンポジウムは「中小企業診断士制度の普及と推進」の実現につながるものです。

本会は、新潟県中小企業診断士協会会員相互の連携を緊密にし、会員の指導及び資質の向上に努めるとともに、中小企業診断士制度の普及と推進を図り、もって中小企業の振興と国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

新型コロナウイルス感染症や大規模災害、国際情勢の緊迫化などから中小企業を取り巻く経営環境はかつてないほど急激に変化しており、これまでに経験したことのない脅威に直面しています。しかしその一方で新たなビジネスチャンスが生まれていることも事実です。だからこそ「自社は何のためにあるのか!」という存在意義に立ち返り、将来のあるべき姿を明確にし、その実現に向けて事業に取り組んでいくことが重要です。私たち中小企業診断士は経営者に伴走し、企業の成長と発展を支援します。またそのために、当協会は会員相互の連携を促進し、資質の向上に努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、シンポジウムの詳細につきましては本誌の会員執筆の記事をご覧ください。

末筆ながら、たくさんの方々のご協力のお陰でシンポジウムを開催できたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

### 中小企業診断士の日イベント

#### 「中小企業経営シンポジウム in 新潟」

##### 広報委員会 樋口圭治

11月15日、朱鷺メッセにて、新潟県中小企業診断士協会主催による「中小企業経営シンポジウム in 新潟」が開催されました。

前日までに、合計92名の事前申し込みがありました（内訳 当協会会員中小企業診断士26名、一般来賓66名）。当日は都合によりキャンセルされた方もいましたが、90名近い方からの参加をいただきました。

当イベントは、基調講演90分、分科会45分という構成です。

基調講演では、上越市のワイナリー(株)岩の原葡萄園の代表取締役で、中小企業診断士の資格も有している神田和明様から「～with&after コロナで際立つ～『求められる新しい経営者の視点』」というテーマで、ご講演いただきました。

講演は、岩の原葡萄園の実体験やコロナ禍への対応、これからの経営に必要なポイント、求められる経営者の新しい視点等といった内容で組み立てられており、とても興味深いものでした。そのため多くの参加者から、おもしろかった、為になったといった声が聞こえました。今回の参加者である企業経営者や支援機関の方々、そして我々中小企業診断士にとって、とても参考になるお話だったのではないのでしょうか。

また講演終了後は、神田様が書かれた著書「リーダーが壁にぶちあたったら読む本」の即売会も行われ、用意した本が完売するといった盛況ぶりでした。

基調講演終了後、新潟県中小企業診断士協会会員3名による分科会が、各部屋に分かれて行われました。

宮澤奈緒子会員は「社員の力を引き出し生産性を高める秘訣～自己肯定感をベースに～」、本間大輔会員は「中小企業のDXとは～デジタル初心者のための業務効率化のススメ～」、横山康之介会員からは「見えない資産にこそ価値がある！～知的資産経営の実践に向けて～」というテーマで、そ

れぞれ講演が行われました。

分科会の講演はそれぞれ異なったテーマだったため、聴講者側もどの講演を聴くか、選択しやすかったのではないのでしょうか。そのせいか、それぞれの聴講者はほぼ三分された形になっていました。

会場にはNHKが取材に来ていました。基調講演や分科会の様子を撮影し、土田正憲会長がインタビューを受けていました。この時の様子は、地方版ではありますが翌日のNHKの様々な時間帯のテレビのニュースで放映されました。土田会長をはじめ、当協会会員等見慣れた顔がテレビ画面に映ったため、驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。

このように、今回のイベントは大いに盛り上がったものとなりました。多くの人達に、中小企業診断士の存在をアピールできたのではないかと感じています。

我々中小企業診断士も、今回の基調講演や分科会で得た新たな知識を活用して、更に躍進していきたいと考えています。

#### 「中小企業経営シンポジウム in 新潟」懇親会

##### 広報委員会 山崎寛和

中小企業経営シンポジウム終了後、ホテル日航新潟30階「鳳凰」にて懇親会が開催されました。一般参加者と当協会会員診断士合わせ約30名の方々からご参加頂き、親睦を深めました。

懇親会では、(株)岩の原葡萄園の神田社長のご厚意により会場内に岩の原ワインの試飲ブースを設けて頂き、コース料理と共に赤・白のワインが振る舞われました。基調講演では岩の原葡萄園の経営に関して貴重なお話をお聞きすることができましたが、懇親会では実際の商品を味わいながら意見交換することで、岩の原ワインの魅力を更に感じられる時間になったことと思います。

今回久しぶりの懇親会開催となりましたので、一般参加者の方にとっては中小企業診断士と交流できる良い機会になり、会員診断士にとっても大変有意義な会となりました。

## 分科会1「社員の力を引き出し生産性を高める秘訣～自己肯定感をベースに～」

宮澤 奈緒子

企業活動（生産性）に、個人の資質とも思える自己肯定感が、どう影響するかをお話ししました。

自己肯定感とは、「自分の存在をありのまま認め、その自分を好意的、肯定的に受け止めることができる感覚です。「自分が自分であって大丈夫」という感覚で、自分が自分についてどう考え、どう感じているかによって決まる感覚のことです。そしてそれは低い状態であってもトレーニングによって、高めることが可能です。

個々の自己肯定感は、離職者、メンタルヘルス、心理的安全性、エンゲージメントに関わります。人事系の「制度やしくみを整えてみたけど、思ったように機能しない」そんな企業のお悩みや課題が、社員の自己肯定感を高めることによって、どうして解消できるのかをご説明しました。

今回は貴重な機会を頂戴したことに大変感謝を申し上げます。

## 分科会2「中小企業のDXとは～デジタル初心者のための業務効率化のススメ～」

本間 大輔



私からは、「中小企業のDXとは～デジタル初心者のための業務効率化のススメ～」というテーマで報告させていただきました。まだまだ分かりにくいDXの定義、中小企業におけるDXの考え方、そして

導入事例と明日から使える無料ツールの紹介をいたしました。

地方の中小企業ではリソース（ヒト・モノ・カネなど）が限られることより、あれもこれもは出来ません。まずは自社の現在地を知り、出来ることから始めてみるのが大事です。ITやDXに正解はないと思っています。少しでも前向きに取り組んでいただけたらと思います。当日はなんとN

HKの取材ありと、緊張の中でしたが、素晴らしい経験ができました。

## 分科会3「見えない資産にこそ価値がある！～知的資産とデザインによる経営の実践に向けて～」

横山 康之介



去る11月15日に開催された「中小企業経営シンポジウム in 新潟」分科会におきまして、講師として「見えない資産にこそ価値がある！～知的資産とデザインによる経営の実践に向けて～」というテーマで発表をさせていただきました。知的資産とは、

財務諸表には表れてこない無形の資産であり、企業の競争力の源泉ともいえる、経営理念、人材、技術、顧客等の経営資産の総称のことを指します。抽象的になりがちなテーマであるため、スノーピーク社における知的資産経営の分析と併せ、デザイン経営やパーパスといった旬な概念との関係性についてもお話させていただきました。

今回、貴重な機会をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げますとともに、今後もより一層の研鑽を積んで参りたいと思います。



中小企業経営シンポジウム 基調講演の様子



## 理論政策更新研修・新潟会場 実施報告

(担当) 研修委員会 小山 直久



8月27日(土)に、第1回中小企業診断士理論政策更新研修(新潟会場)が開催され、150名が受講しました。今回は「中小企業のデジタル化支援」をテーマとして研修が進められました。

2020年2月に端を発した新型コロナウイルス感染症の流行は、事業継続力の強化や業務効率化による生産性の向上等の課題について、中小企業にとっては、デジタル化の重要性を再認識させる一つの契機となりました。

DXという言葉が先行する中、中小企業診断士は、事業者の現状を踏まえた段階的改善の重要性を認識することができました。これらの知識やノウハウ、経験談について、各方面の第1線で活躍される3名の講師から、下記テーマで講義を行っていただきました。

- ・「新潟県の産業の現状とにいがた産業創造機構の支援について」  
(講師) 澁谷 武 氏  
公益財団法人にいがた産業創造機構  
企画・総務グループ 総括マネージャー
- ・「経営用語としてのデジタルトランスフォーメーション」  
(講師) 赤塚 浩一 氏 中小企業診断士  
IPSコンサルティング 代表
- ・「デジタルとダイバーシティで築く新たな現場づくり」  
(講師) 櫻井 馨 氏  
伊米ヶ崎建設株式会社 代表取締役

## 理論政策更新研修・長岡会場 実施報告

(担当) 企業再生支援研究会 上村 修



9月10日(土)に、第2回中小企業診断士理論政策更新研修(長岡会場)が開催され、81名が受講しました。

今回は「中小企業の事業再構築支援」をテーマとして研修が進められました。

中小企業の経営環境は、コロナ禍の長期化や、燃料価格を中心とした各種仕入価格の高騰、人材不足など様々な逆風が吹き、厳しい状況に置かれています。

このような状況で「事業再構築」への取組みは、窮境打破の重要な選択肢といえます。

中小企業診断士が事業再構築支援に取り組む際に必要とされる知識やノウハウ、経験談について、各方面の第1線で活躍される3名の講師から、下記テーマで講義を行っていただきました。

- ・「『中小企業活性化パッケージ』に基づく中小企業活性化協議会の役割と活用方法」  
(講師) 田中 満 氏 中小企業診断士  
新潟県中小企業活性化協議会 統括責任者
- ・「マーケティング視点での事業再構築支援」  
(講師) 今井 進太郎氏 中小企業診断士  
グローバルマーケティング(株) 代表取締役
- ・「スキー宿から、雪国文化の発信拠点への変革。宿が牽引する観光地域づくり」  
(講師) 井口 智裕 氏  
(株)いせん 代表取締役

### 中小企業診断協会 北関東・信越ブロック会議

専務理事 平野 康晴

令和4年10月28日(金)、栃木県宇都宮市のホテルマイステイズ宇都宮にて、一般社団法人中小企業診断協会(連合会)の北関東・信越ブロック会議が開催されました。

連合会本部、各県協会(栃木県、新潟県、茨城県、群馬県、長野県)から会長・役員2名ずつが出席。当協会からは、土田会長と私・平野が出席しました。

栃木県協会・伊藤副会長のファシリテートで会議は進行。連合会本部による、来年度の政府の中小企業施策、診断協会のあり方についての検討状況、新たな実務補修の創設について等の報告があり、それから各県協会の活動状況報告、情報・意見交換へと会議は進みました。

リアルで開催されるのは3年ぶり。会議は白熱し、活発な質問・意見交換が交わされました。4時間の会議時間はあっという間に時間切れ。有意義な会議であったと、皆様口を揃えておっしゃっていました。その後の懇親会も盛会となり、満足度の高い1日となりました。素晴らしい会議と懇親会の場を作り上げていただいた栃木県協会の関係者の皆様に、改めて感謝の意を表したいと思います。

来年度は、我が新潟県協会が北関東・信越ブロック会議の当番となります。春先にもプロジェクトチームを発足させ、良い会議を実現できるよう準備して参ります。時期が来ましたら、プロジェクトチームへの参画を皆様に呼びかけますので、やる気のある方はぜひ手を挙げてください。

【余話】 宇都宮といえば、餃子の街として知られていますが、カクテルの街、ジャズの街としても有名。2次会はカクテルバーの名店『パイプのけむり池上町本店』にアテンドし



てもらいました。お酒と会話と音楽をゆっくりと堪能しながら、宇都宮の夜は更けていきました。

### 企業再生支援研究会

代表 上村 修



今年度の第1回研究会は、7月23日(土)にプラカ3・駅南貸会議室KENTOを会場として開催されました。

2部構成で開催し、第1部が本間大輔会員から「経営改善のためのDX」とのテーマで講演頂き、第2部は辰喜太輔会員から「消費税インボイス制度の基本的な仕組みとその対応について」とのテーマで講演を行っていただきました。

今回は、企業経営を取り巻くトレンドテーマを、該当分野に詳しい会員から講演を行っていただきました。

コロナ感染拡大のため、残念ながら研修会後の懇親会は中止となりましたが、研究会には会場参加18名、Zoom参加12名の合計30名と多くの方々からご参加いただき、会員間の交流と活発な意見交換が行われました。

次回の研究会は、来年2月25日(土)に開催します。講師は、外部講師として賀須井章人先生(中小企業診断士・税理士、平成30年10月～令和2年12月の間、中小企業再生支援全国本部〔現名称：中小企業活性化全国本部〕の統括プロジェクトマネージャーを歴任され、その後税理士事務所を開業)を予定しております。

企業再生の最前線で活躍されている賀須井先生から、貴重な講演を受講できるチャンスとなりますので、多くの方々からのご参加をお待ちしております。

### 事業承継・中小M&A研究会

代表 土田正憲

7月21日(木)、新潟県事業承継・引継ぎ支援センターと「中小PMI」に関する合同勉強会を開催しました。



・テーマ

中小PMIガイドラインの解説

・講師

中小企業基盤整備機構 関東本部

連携支援部 連携推進課

中小企業アドバイザー 渡辺政之 氏

令和4年3月、中小企業庁から「中小PMIガイドライン」が公表されました。PMIとは、M&A実施後の統合作業のことです。ガイドラインには、事業の譲受側が実施することが望ましいPMIの取組について示されています。基礎編は小規模案件を含めた全てのM&Aにおいて基本となる取組事業や留意点等を、発展編はM&A成立後の事業の円滑な引継ぎのみならず、中小企業での対応可能なシナジー効果等を実現するために行う取組を整理しています。

ガイドラインの公表と同時に、中小企業の事業承継・引継ぎ支援に向けた中小企業庁と(一社)中小企業診断協会が連携する旨が示されました。当研究会としても、中小企業の円滑な事業承継・M&Aの実現に資するために取り組んでまいります。

### 青年部会

会長 長谷川 貴一

青年部会の長谷川です。青年部会は、会員相互の交流や情報交換を目的に勉強会や会合を定期的に行っていますが、近年は新型コロナウイルスの影響もありその他様々な活動にも取り組んでいます。オンラインを活用した東京都中小企業診断士協会との交流や中小企業青年中央会主催の他、組合との連携事業等、青年部会として外部関係者と様々な連携をしています。

本年度は、中小企業診断士がこれまで以上に中小企業へのSDGs取組支援を推進していけるよう、中小企業診断士向けにSDGs取組推進マニュアル策定をすることを目標に掲げ、中小企業診断協会が行っている令和4年度調査・研究事業に申し込み、無事採択を受けました。この調査・研究事業では、調査研究として実施する打ち合わせや会議、企業や団体への訪問に係る交通費、ヒアリングやその他情報収集等に対して、金銭的な補助を受けることができます。その中で調査研究を進めて、最終的には令和5年の3月までにマニュアルを策定して提出する予定です。年末年始のかなり多忙な時期ですが、目標およそ100ページのマニュアルを作るべく、参加メンバーが日々活動をしています。出来上がったマニュアルが少しでも中小企業診断士に活用されること、また、参加したメンバーにとって少しでも学びになることを期待してメンバー一同頑張っていきたいと思えます。なお、まだまだ人手が足りない状況ですので、メンバー募集中です。少しでもご協力いただける方がいましたら長谷川までご連絡ください。

その他、世の中の情勢変化を見ながら、本来の青年部会の趣旨である交流のための会合も開催しています。ここ2,3年の間でオンライン交流が主流となった中、多くの方が対面での交流の大切さを感じているのではないのでしょうか。年末年始と感染者が増える時期ではありますが、感染対策を行い会員同士がしっかりと交流できるよう活動していきます。今後ともよろしくお祈りいたします。



## 新入会員紹介

### 新入会員 小林 満男



令和4年10月に入会しました、小林満男と申します。平成3年度登録で、企業内診断士として中小企業診断協会（東京支部・中央支会）に加入し研究会活動等に取り組んできました。

NTTでは無線通信技術者として、自動車電話方式、マイクロ波通信方式及び衛星通信システムの開発、運用等に從事してきました。管理職になってからは法人営業本部で、主に衛星通信サービスの販売等を担当しておりました。

役職定年と同時に2011年4月から、新潟国際情報大学経営情報学部にて勤務しております。業務多忙ということで、中小企業診断士の方は活動を休止し、毎年更新研修に参加するだけとなっております。現在は、情報システム関連の科目を担当しておりますが、情報システムが企業や社会の中で、いかに活躍しているのか、現場の状況を把握するためにも、新潟県中小企業診断士協会に加入することとしました。

東京から新潟に来て12年目になります。自然環境や食など、非常に恵まれていることに感謝しつつ、また企業や多様な団体が多方面で活躍しているにもかかわらず、首都圏からみるとどうしても存在が薄いような気がしています。新潟の持つ資源、持つパワーをもっと活かしていくことに微力を尽くしたいと考えております。現在、日本一長い新潟砂丘をPRすべく地元の方々と新潟砂丘遊々会を立上げ、砂丘ウォーキングを実施したりしています。

今後は、研究会活動等を通して診断士の先生方や地元企業に学びつつ、新潟の未来をつくる若者たちの教育に活かしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 新入会員 灰野 源哉



はじめまして。このたび入会させて頂きました、灰野源哉と申します。新潟市生まれで、現在も新潟市に住んでおります。京都の大学を卒業後、県内の葬儀会社に就職しました。葬儀会社では、病院へのお迎え、葬儀のディレクション、葬儀当日の司会やサービス対応、霊きゆう車や送迎バスの運転など、葬祭に関するあらゆる業務を経験しました。

中小企業診断士の勉強を始めたのが令和2年2月、ちょうど新型コロナウイルスが日本で蔓延し始めた時期でした。世間の自粛ムードが、今と比べ物にならないほど強かったことはまだ記憶に新しいですが、この時流は私にとって有利に働きました。ただ仕事と勉強だけに集中し、淡々と日々を過ごしました。しかしさすがに限界が来ていたのか、令和4年1月、合格を知った瞬間は安堵のあまり膝から崩れ落ちてしまいました。

合格後はすぐに実務補習へ参加し、5月に登録を受けました。ちなみに、実務補習は大阪でマンスリーアパートを2ヶ月間借り、居住しながらの参加でした。6畳1間ワンルームの生活で、新しい出会いや初めての土地、これからの人生への期待や不安と、学生時代のあのどきどきする感覚を久しぶりに味わいました。

帰省後は会計を通じたコンサルティングを行うことを目指し、新潟市内の税理士法人に就職いたしました。（この文章を執筆している11月下旬の段階で）まだ約半年ですが、会計業務に加えて補助金申請やBCP策定など、様々な業務に携わらせて頂いております。

新潟の中小企業の成長を粘り強く支援していけるよう、これからも日々精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 新入会員 堀川 佳則

お世話になります、堀川と申します。

出身は三条市で、今は長岡市に居住しております。現在は会社員として新潟市に通勤しております、ICT系のシステム構築やメンテナ

ンスなどを担当しております。(といっても口だけ動かすマネジメントのみですが。。)

転勤族で新潟・東京・長野あたりを行ったり来たりしてきましたが、新潟に戻るたびに「やっぱ新潟っていいな」という思いとともに、もっとこの新潟に貢献したいという気持ちから中小企業診断士を目指しました。2年ほど前に試験は合格して、この8月に登録・入会させて頂きました。

世の中、AI・IoT・ロボティクス等といった単語が溢れかえっており、新潟県内の中小企業でも取り入れてDXを志向してらっしゃる企業様も多数あるようです。未熟ではありますが、今のVUCAな時代に、そういった企業様と伴走できることを目指して、活動していきたいと考えております。

趣味は、たまに行くキャンプやバイクでぷらり、あとは日帰り温泉やラーメン食べ歩きが大好きです。

好きな言葉は「人間万事塞翁が馬」。良いことがあっても慢心や油断せず、悪い事があっても気にしすぎない、そんなことを心掛けております。

まだ全く活動に参加できておりませんが、これから積極的に参加して先輩の皆様方や企業の方々と触れ合いながら日々学んでいき、少しでも早く新潟県の中小企業に貢献したく存じます。

ご指導ご鞭撻のほど、ぜひ宜しくお願い申し上げます。

## クリップボード

- ◆令和5年1月28日(土)  
新春講演会および新年会
- ◆令和5年2月25日(土)  
第2回企業再生支援研究会

### その他近況報告(実施済み)

◇令和4年11月11日(金)

「11の専門家による無料相談会」

◇令和4年12月3日(土)

「中小企業診断士を目指す人の情報交換サロン」

### 編集後記

#### 広報委員会 山崎寛和

協会活動報告でも掲載されておりますが、11月15日、「中小企業経営シンポジウムin新潟」が開催されました。新型コロナウイルスの影響で昨年は個別相談会のみで開催でしたが、今回は基調講演・分科会・懇親会を会場で開催し、多くの方々からご参加頂きました。広報委員会の樋口委員長の元で春から準備を進めて参りましたが、無事に終えることができ、感慨深いものがあります。ご協力頂いた皆様とご参加頂いた皆様には改めて感謝申し上げます。当日の様子はNHKのニュースでも放映されましたので、当協会のPRにもなり、とても嬉しく思いました。

今回のスープレターは、久しぶりに新入会員紹介のコーナーを設けております。近年、中小企業診断士試験の受験者数が増加しておりますが、当協会でも新入会員が徐々に増えており心強く感じます。新入会員の皆様には是非、委員会・研究会・青年部会等の活動に積極的にご参加頂き、会員同士の交流を深めて頂ければ幸いです。

そのためにも広報委員会では、これからも様々な形で情報発信をしていきますので、よろしくお願いたします。